

経営比較分析表（令和2年度決算）

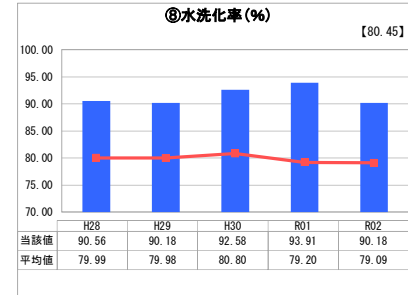
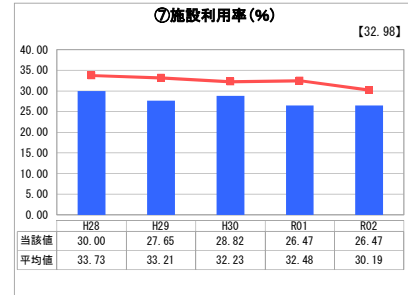
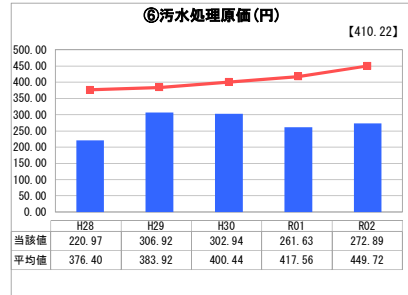
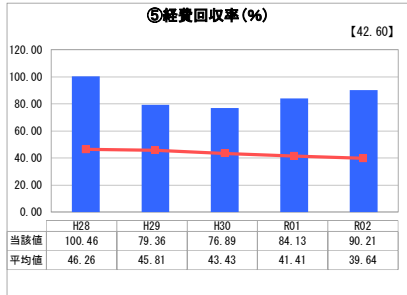
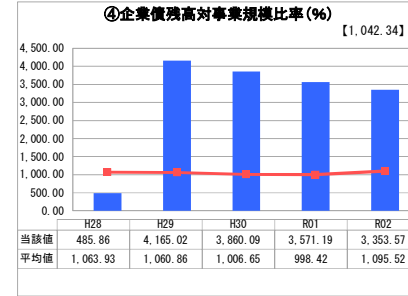
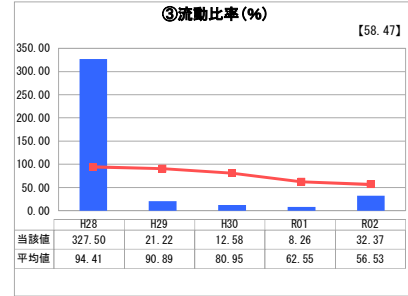
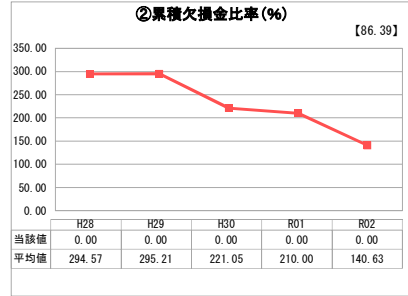
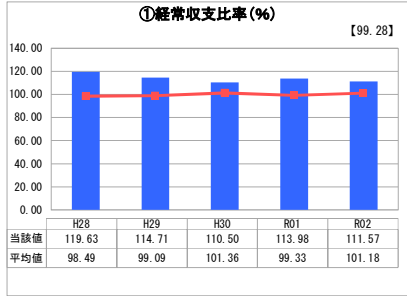
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.40	1.99	100.00	4,860

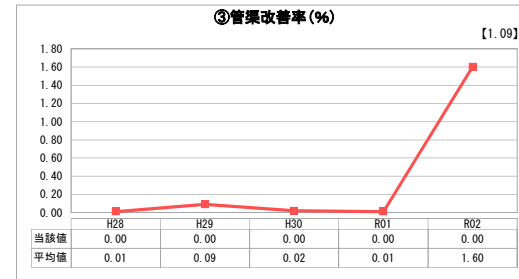
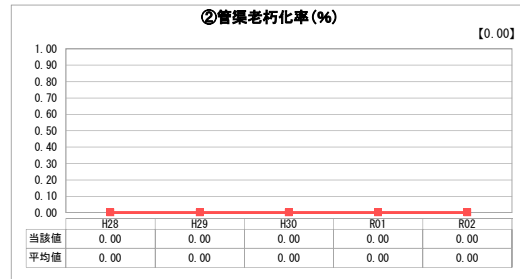
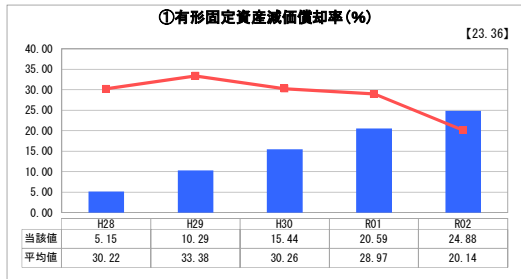
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,970	241.01	57.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
275	0.07	3,928.57

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

H28年度から企業会計を適用し、初年度は移行による経費があるため比較出来ない項目があります。

①経常収支比率、③水洗化率は類似団体平均値を上回っております。

②累積欠損金は当町では発生しておりません。

③流動比率は、H29年度より翌年度の企業債償還元金を固定負債から流動負債へ移行したことによる減となっております。

④企業債残高対事業規模比率は、28年度決算数値は比率の計算方法の違いにより比較は出来ませんが、ピークは過ぎ下降傾向にあります。

⑤経費回収率は当該値が100%以下に変化しました、100%以上に向け対策が必要であります。

⑥汚水処理原価は類似団体平均値より低く、汚水処理費が抑えられている現状にあります。

⑦施設利用率が類似団体平均値より低いのは、接続率が89.4%の状況であり、近年の水の使用量の低下及び少子高齢化による使用者の減少等が考えられます。

経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減に向けた検討を進めていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が類似団体平均値より高い傾向へ変化しました。法定耐用年数に近づいている固定資産が増加傾向にあります。

③管渠の更新・改良は、現在ありません。

施設供用開始から19年経過しつつあり、経年劣化による修繕等ができております。R2年度に機能保全計画を策定し、今後は計画に沿った施設の整備を進めていく必要があります。

全体総括

R2年度に機能保全計画を策定し経営戦略に盛り込み、投資の合理化を図り、健全で効率的な経営を目指していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。